



# ドキュメンタリー映画 何のために

## 人は誰かとつながりながら 人生の目的と出会っていく

### 映画をつくる目的

私たちは生きていく中で、様々な体験をしながら成長するための学びを続けます。とくに人と出会い、それぞれの生き方を共有し合うことで、新しいヒントを得たり、考え方を深めたり、思いを定めていくことでしょ。"平成の寅さん"とも言われ、日本全国で年間300回もの講演活動が続ける中村文昭が、この映画の中で伝えたいことは2つあります。1つは「何のために」と考えることが全国に広まれば、もっと世の中が変わるのではないかという思い。誰かが誰かのために生きて

いくことができたら、もっと助け合いの心があふれる世界になると感じています。そしてもう1つは、映画を通してみんなが集まる"リアルな場=上映会場"を増やすこと。人は人によって成長してゆくものです。"人のご縁"を大切にしてきた中村文昭が感じているのは、現実社会の中で、もっと人と人が出会うきっかけが増えれば、人情や思いやりの精神が豊かになっていくかもしれないということです。私たちはこの2つを心から願い、映画制作の中に込めています。

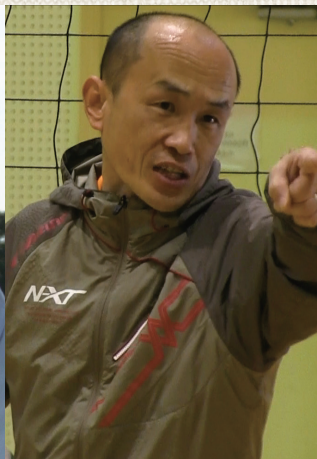
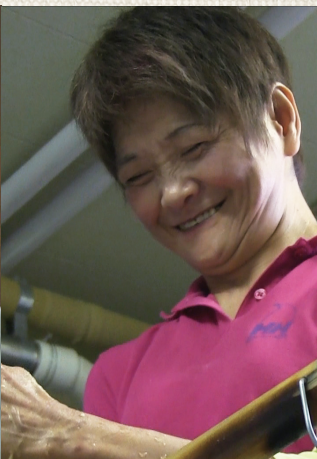
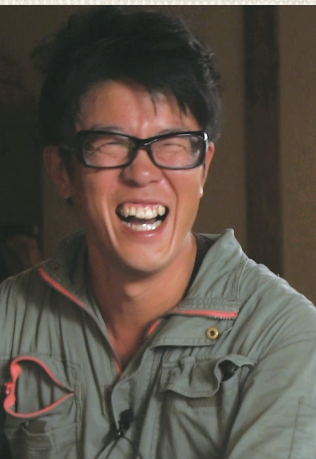
### 中村文昭プロフィール

1969年、三重県生まれ。高校(皇學館高校)卒業後、単身上京。のちに人生の師匠となる1人の実業家との出会いから、果物と野菜の行商や飲食店の経営に携わり、商売の面白さを知る。独立後は故郷に錦を飾るべく、三重県の伊勢でレストラン・ウェディング事業を展開。お客様に喜んでいただくための独自のサービスを提供し、派手な広告もせず大繁盛となる。2000年から始めた講演活動は評判が評判を呼び、07年には年間300回以上も行うなど大盛況。全国を歩くかわら、日本の農業と若者をつなげる「耕せ!!にっぽん!」もプロデュースしている。著作はすべてベストセラー。著書は「お金でなく、人のご縁ででっかく生きる!」「人生の「師匠」をつくれ!」「話し方」ひとつで、人生はでっかく変わる!」など多数。

### 作品の概要

この映画には、日本の四季折々、春夏秋冬の移り変わりに添いながら、中村文昭と出会って人生が変わった4人の人物たちが登場します。教育現場の変化に葛藤しながらも教師本来のあり方を探求しつづける情熱先生・西園和彦さん。ハンディキャップにも負けず、ひきこもりやニートたちの食事づくりに全力を注ぐ肥川真理子さん、北海道で大自然と農業に向き合う熱血社

長・東野昭彦さん。日本が大切にしてきた伝統作法を伝え続ける森日和さん。「粋な男の生き方」を探求しながら、全身全霊、体を張って人材育成に向き合う建設会社の社長・氷室優さん。この映画は、時に泣き、時に笑い、励まし合いながら、支え合いながら、人々が大切なことに気づいていく姿を描いているヒューマンドキュメンタリーなのです。



CAST 中村文昭 東野昭彦 肥川真理子 氷室優 西園和彦 森日和(友情出演)  
制作 企画・構成・監督/鈴木七冲・桑浦豊土  
撮影・編集/谷忠彦 ナレーション/松村邦洋  
音楽/佃良次郎 デザイン/斎藤啓一(panix)  
制作協力/サンマーク出版 制作・配給/クロフネカンパニー



ナレーション  
松村邦洋

FOR WHAT? 人生は、いつでも変えられる。

[www.kurofunet.com/nakamura/movie](http://www.kurofunet.com/nakamura/movie)